

議 事 録

| | | | |
|-------|---|------|-----|
| 会 議 名 | 平成23年度 第1回寒川町生涯学習推進会議 | | |
| 日 時 | 平成23年6月29日（水）午後1時30分～3時30分 | 開催形態 | 公 開 |
| 場 所 | 寒川町民センター 講義室 | | |
| 出 席 者 | 委 員：三澤委員（会長）、篠塚委員（副会長）、織田委員、菊地原委員、揖斐委員、 恵羅委員、岸本委員、柳下委員、小西委員、小林委員 （欠席者：渡邊委員） 事務局：山上町長、三澤教育長、鈴木教育次長、古谷生涯学習課長、 中野生涯学習課主査、山口生涯学習課主任主事、北村公民館長、 大川図書館長、吉川スポーツ振興課長、円道学校教育課長、 天野子育て支援課長、伊波健康課技幹、宮崎高齢介護課主査 傍聴者：なし | | |
| 議 題 | 下記議事欄のとおり | | |
| 議 事 | 1. 開会 古谷生涯学習課長 ○委嘱状交付 2. あいさつ 山上町長 3. 自己紹介及び職員紹介 4. 寒川 学びプラン及び寒川町生涯学習推進会議について 事務局から資料2を説明 5. 会長・副会長の選出 ・会 長 三澤委員 ・副会長 篠塚委員 当会議の議事録承認委員は今回は正副会長を指名。異議なく了承。 6. 報告事項 (1) 寒川 学びプラン 平成22年度事業報告及び平成23年度事業計画について ・事務局から資料3・4について説明 (委 員) リカレント休暇とはどういうことか。 (事務局) 学校教育を終えて、社会人となった人が大学などに入って学習活動をする ことを支援する制度となる。 (会 長) 連番17の家庭教育の充実について、主な実施事業が家庭教育講座の開催 とあるが、「おはなし広場」「おはなし図書館」はこれは子どもたちが対象 になっているので家庭教育講座ではなく幼児教育支援の方が適している のではないかと。家庭教育講座とは保護者向けではないかと。 | | |

- (事務局) ご意見のとおり、「おはなし広場」「おはなし図書館」など対象が未就学児や小学生の事業については家庭教育よりも幼児教育の方が内容的にふさわしいかと思う。第1期の実施計画、当初の位置づけの時のまま残ってしまった形だと思われるので、見直しさせていただき、幼児教育講座へ入れたい。
- (会長) 連番25について、子育て相談啓発サークルの支援等の事業を行ったとあるが、確か平成18年度から同じ事業をされているが、概ねいくつくらいサークルが育成できたのか。ここ1、2年の間に子育て支援メッセを町で開催したいと考えており、子育て支援課にも協力をお願いしたいので、町にそのようなサークルがどれくらいあるのか知りたい。
- (子育て支援課長) 子育て支援の推進として、子育て支援センター事業の中で、子育て相談、サークルの育成としているが、子育て支援の一つとして行っている事業であるので、団体、グループ、サークルという言葉よりも、感覚的には母親の友達グループとなるような感覚で事業を行っている。あくまでも、母親の自主的な活動を側面から支援する、例えばお友達が欲しいという母親に、どちらで、こういう集まりがあるので参加してはどうか、という支援をしているため、グループがいくつあるという把握はしていない。
- (委員) 連番33、35、36について、23年度事業予定を見ると全く同じだが、施策名は体験学習の充実、特色ある学校づくりとあるが、説明をしていただきたい。
- (学校教育課長) 「特色ある学校づくり」として平成21年度まで実施してきたが、22年度は休止とし、23年度は予算のかからない形で特色ある学校づくりを推進するため、生きる力育成事業として校外研究、地域協力者への講師謝礼等で各学校の教科及び、道徳、特別活動、中学校では部活動で特色ある講師を招いて運営している。あえて特色ある学校づくりの推進事業ではないが、生きる力育成事業として各校の特色を出して、事業展開していく予定となっている。
- (委員) 22年度は生きる力や豊かな心を育む取り組みの充実だけだったが、23年度になると体験学習の充実、特色ある学校づくりにも明記されているが、拡大されたということか。
- (事務局) 先ほど「寒川 学びプラン」の冊子の説明をさせていただいたが、11頁下に施策の方向とあるが、施策名は15年間の学びプランの計画の中で決まっているため、動かせない。ただし、施策名に合致する事業にあてはめていく形になるため、同じ事業が複数の施策に再掲される表記となる。
- (委員) 連番44について、教員等による講座の開催で、新規とあるが、22年度は廃止となっている。廃止理由が23年度に「事業の検討、実施」として実施し、その対象が小中学生ということですが、事業はどのようなものを実施するのか。廃止の理由と実施の中身について説明してほしい。
- (事務局) こちらについては、のちほど説明させていただく資料5の第1期実施計画の5年間の事業報告で18年度以降どのような事業を行ってきたかが記載されている。事業としては18年度は科学ものづくり教室、20～21年度の小学生対象の「お琴に親しもう教室」については部活の指導者と中学生の生徒による事業を開催していたが、22年度から開始した緊急財政対策により、事業廃止となった。この第2期実施計画の策定にあたり、施策名として青少年期の学習支援が欠かせないこともあり、事業を検討していかなければならないため、第2期にも項目を残している。取り組み内容については、予算のかからない形で実施できればと考えている。

- (委員) もう1点、連番130の「口腔と歯周疾患の教室」について新規か継続かわからないが、22年度は実施して、23年度は未定ということか。
- (健康課技幹)「口腔と歯周疾患の教室」は茅ヶ崎歯科医師会の協力のもとで、虫歯予防デーにあわせて、22年度は6月13日に中央公園で182名の参加があった。23年度においても5月の第4日曜日にやはり茅ヶ崎歯科医師会の協力を得て、総合体育館多目的室で事業を実施した。
- (会長) 他に意見がなければ、次の(2)寒川 学びプラン5年間の事業報告について事務局より説明をお願いしたい。
- (2) 寒川 学びプラン 第1期実施計画の5年間の事業報告について
- ・事務局から資料5について説明
平成18～22年度までの第1期実施計画、5年間の主な実施事業、事業実施内容をまとめたもの。第1期実施計画の報告については、もともと学びプランには成果目標の設定がされていないため、5年間の実績をこの形でまとめた。
- (会長) ただ今、事務局より説明があったが、これについて委員から質問などあるか。
- (委員) 第1期の成果目標が設定されていなかったというが、この結果についてある一定の評価を得たと考えているという記述があった。一定の成果を得たという、基準とはなにか。一定とはどの程度、何をもって町は成果が出たと評価をしたのかこの5年間の総括について聞きたい。
- (事務局) 資料5にはそのような記述はしていないが、先ほども説明のように、この学びプランには成果目標などは設定されていないため、それに対してそこまで到達したのかという評価は示せない形となっている。第1期5年間についてまとめた形でこのような表を作っているが、この会議でこれを示したのと同じく、役場内の調整会議、幹事会議でもこの内容を第2期の実施計画を進めていく上で調整をしていきたいと考えている。なお、この資料をもって、どう総括するかというところまでは現在できていない状況である。
- (委員) さきほどの質問と重複する部分もあるが、この5年間でたくさんの事業が行われているということだが、事業を実施した上で、5年もすればニーズも違ってくるのではないか。ニーズにあわなくて駄目になった事業がいくつあるのか、またそれがどのようなものなのか知りたい。
- (事務局) 資料5の表の一番左の施策名については、学びプランの15年間の中で固定されており、その中の実施事業になると固定はされていないため、ある程度新規事業が発生したり、廃止したりする。一例であげると、11頁の連番58は公民館講座等の開催は年度によってかなり差異がみられる。同じような事業を継続していることもあるが、年度により回数が増減や内容の変更も見受けられ、具体的に前年度人気がなければ、翌年度は別の事業を実施していこうということはあるかと思う。
- (委員) 先ほどの一定の評価をあげたとの記述についての質問の補足だが、資料4の一番最初のページに取り組み方針の中で情報提供体制の充実のところにおいて一定の評価をあげることができたとの記述がある。それであらためて聞きたいのだが、この学びプランの生涯学習の基礎固めというのはやはり一番大事で、第1期でどれくらいの成果をあげているのか。一番大事な成果目標を作っておかなかったのは私たち生涯学習推進会議として生涯学習を推進する体制として位置づけられているので、私たちは成果がどうであっ

たか判断して、次からどのように考えたらいいか考える委員会であり、それがわからずして推進を図ることはできないのではないか。成果目標が立てられなかった理由は何なのか。

(事務局) もともとの計画は平成18年度に作成したものとなるので、当時なぜ成果目標が立てられなかったのかという明快な答えはできない。しかしながら、現在教育委員会では教育振興基本計画を策定中である。これは平成24年度から9年間の計画であり、3年ずつ、3期に分けて実施計画を立てる予定となっている。その中では成果目標を設定することで細部を詰めているので、24年度から始まり3年間となるため、24から26年度が第1期、27年度から第2期になります。第2期の時にこの学びプランと教育振興基本計画を統合する予定で調整している。統合されれば、その中で当然成果目標を24年から設定しているので、そこに学びプランの主要事業のいくつかは成果目標を新たに設定していくことになる予定である。

(委員) この学びプランに明確に書かれているのは人づくりとある。人づくりをテーマに絞って主にソフト面を充実した計画とすると、私はここの一番学びプランの眼目があると思う。まさに自治基本条例の協働のまちづくりの人づくりにつながってくると思う。今の説明では成果目標を設定しなかったことに明確な理由はなかったということだが、まずは今年度から27年度まで時間がある、是非とも23年度から明確な成果目標を掲げてもらわないと、私たちはこの仕事がどうであったのか評価することができない。

(事務局) 先ほどのとおり、教育振興基本計画策定中でその中で成果目標を検討しているが、全ての事業に対して成果目標を設定するというのは不可能であるので、あくまでも主な取組に関しての成果目標と考えている。この学びプランでも成果目標は全部なのか、いくつか取り出してなのかということもあるので、今年度中から成果目標を設定するのは現実的には不可能ではないかと思う。

(委員) それではせめて主な取組に対してはお願いしたい。

(委員) 皆さんがおっしゃるのは多分同じ事だと思うのだが、今までの報告を聞いて、何に対してどのような意見をいっていくというのがわからない、それが成果という言い方になっていると思う。町側が考えるこれについて5年間やってきた、これについてはこういう理由で廃止、休止をして、次にこういう目的のものを重点に行っていく、という話だけで多分済むのだと思う。先ほど生涯学習課長から説明があったように、成果は今後の23年、24年というようになるかはわからないが、計画の中で入れていきますよ、ということで足りるのではないか。しかし、その間のものが、皆さんに分かりづらい、私も初めて今回出席したが、これでは何をどう答えて質問なり、提示をしていいのかわからない意見となっているのだと私は理解している。

(委員) 成果や評価というものも大事なもので、それなしに総括も何もない訳だと思う。当然すべきだが、自己点検、自己評価という言葉が流行り、今回の総括は第三者がするものであって、特に生涯学習とはつまり、町民の人生がどう充実するかということに評価の第一が発生し、そこに参加される町民の声をフィードバックするための仕組みや体制というのは事業の中で取られているのか。

(公民館長) 公民館事業では参加者に対して、どういう評価か、どういう事業をしてもらいたいアンケート調査をしている。それをまたフィードバックするような形で活かしている状況である。

(会 長) 事業ごとのアンケート結果ももしかしたら皆さんが知りたいところではないだろうか。全ての事業に対してアンケートではないと思うが、アンケートをした結果がわかったら、こういう良い事業はどれかということが皆さん納得できるかと思うのだが、今後そういう表示はできないか。

(事務局) 今、公民館から説明があったが、公民館講座だけではなく生涯学習課の講座でもある程度事業をすれば最後にアンケートを行っている。そういうものをフィードバックする意味もありますが、来年度、1年先になるが、23年度の実績と25年度の計画資料を作る時にはその枠を設けて、どのような希望があったのかという内容のものは全ての事業ではないが、表記は可能ではないかと考える。

(会 長) では、次年度に期待したい。他に意見、質問がなければ(7)さむかわ生涯学習総合案内について事務局から説明をお願いしたい。

7. 協議事項

(1) さむかわ生涯学習総合案内について(資料6)

- ・資料6説明。寒川町の生涯学習制度や公民館、図書館の事業紹介パンフレットとして23年度から実施。6月に全世帯向けに全戸配布。

(会 長) 生涯学習の入口である情報提供の充実のため、チラシを作成したということだが、予算の関係で年1回、文字量の多いチラシであるため、次年度どのようにこれで町民の皆さんが興味を持ってくれるか、ここで建設的な意見、来年度はこのようにしたらいいのか意見をいただきたい。

(事務局) 補足説明だが、これまで町民大学や出前講座、人材登録など個別の事業のパンフレットを作成し、生涯学習課、公民館窓口などには置いていたが、なかなか生涯学習に取りかかる前の人へ生涯学習、社会教育とは何という入口となるきっかけづくりはできなかったもので町の事業を広く知っていただきたいために全戸配布を行った。実際にこれを見て問い合わせでサークルを作りたい人や人材登録を希望する人、また女子高生が演歌を歌いたいがそういう発表をする場所はどこかにあるのか、など数件いただいている。もっと寒川の生涯学習活動を理解していただけるようには、この紙面づくりに関して御意見いただきたいので、今回提示させていただいた。

(委 員) 寒川町と同じ行政規模でよく愛川町が比較される。それで愛川町では生涯学習ガイドブックーいつでもどこでも生涯学習ーという冊子を各戸配布している。寒川町でも各団体がこういうことをやっているという冊子を各公民館に置き、自由に手にできるようにもう一步進んだ形で生涯学習に参加していただけたらどうか。

(委 員) これは広報と一緒に差し込むようなお知らせの形で入れていたが、愛川のような冊子ではなく、このような用紙1枚の形であれば、この規模の方が見やすいと思う。冊子になるとちょっとゆっくり見るには時間がかかるし、じっくり見ようとは思わないので、何気なくポスター感覚で見ると、この程度が私にはいいと思う。ただ、開催予定メニューは横並びよりも表にして何月にこういうものがあるというように表現された方が見やすい。

(事務局) さきほど愛川町の冊子をご紹介いただいたが、内容を見るとサークル紹介の部分が大半となっている。サークル紹介については寒川町でも作成している。ただ問い合わせ先に名前や電話番号が入るとなると、全戸配布は嫌だということにもなる。そこで、団体紹介に関しては窓口閲覧用に設

置き、団体について問い合わせがあったら、紹介はしている。

(委員) 教育委員会にしか置いてないのか。公民館窓口にはないのか。

(事務局) 教育委員会と公民館、福祉課、健康課などの窓口にも置いてある。

(委員) 閲覧のみで持ち帰れないのか。

(事務局) 閲覧のみでその場でご覧いただくという形としている。

(委員) 愛川町のは持ち帰れるので、ゆっくり自分でどういうものがあるって、どこに参加したらいいかというのが考えられるが、方法としてより町の皆さんにここのに入ってみようかということにつながると思うので参考にしてほしい。

(教育長) 今の件に関しては、私も同感である。団体サークルもメンバーが欲しい、広報したいが個人情報の関係で住所や電話番号は知らせたくないという部分がある中で、たとえば公民館で何曜日になにをしているかという形でもいいので、できるだけ多くの情報が流れるように努力したいと考えている。

(委員) 町のホームページでは発信できているのか。

(教育長) 結局、ネックとなるのは個人情報。表示が難しい。

(委員) こういうサークルがあるというのはできないか。

(教育長) それは可能だと思う。

(委員) こういう活動をしていますというものを表示できればいいと思います。

(事務局) そういったことも踏まえて、代表者の連絡先が入らなくても活動日や活動場所、活動内容を冊子やホームページで提示することは可能なのだと思う。冊子となると印刷のための予算が必要となるので今すぐ作成することは難しいが、今後検討していきたい。

(委員) 中級英会話教室は8月とあるが、南部生涯学習推進事業のことを指しているのか。もしそうならば、去年は中級だったが今回初級になっている。

(事務局) この総合案内と町民大学ガイドについては4月の年度当初に各課に調査をして、あくまで年間予定という形で掲載している。若干の変更についてはご理解いただきたい。またサークル情報についての連絡先有無のご意見をいただいたが、ご参考までに人材登録制度ステップ・アップの登録メニュー紹介では生涯学習課に連絡をして、講師の連絡先を聞く、というひとつ手間を省いて直接連絡がとれるようにできないかとの利用者や登録者双方からの意見があり、今回から登録者に了解を得て、連絡先を掲載している。

(委員) 町民大学ガイドについて認識不足で恐縮だが、今回初めて見た。講座などは近くなると広報に掲載されるが、広報も発行が月1回になってしまったためか、かなり細かくて目を通しづらいので、町民大学ガイドを全戸配布するとよいのでは。

(委員) 成人期の代表としての意見だが、やはり今はホームページの方がすぐ見るので、見やすいホームページやブログ、ツイッターなどを作っていただくと成人期の参加が少ない事業にも興味を持つ方が多くなるかと思う。私

